

## 第 13 章 神明後遺跡の調査

### I 遺跡の立地と環境

神明後遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の東約 300m、さかい川の谷頭部から約 1,500m 下った右岸に位置し、標高 12 ～ 16m、現谷底との比高差は 1.5m を測る。さかい川は本遺跡付近から崖を形成し始め、本遺跡をのせる南側台地は急斜面、対岸の北側は緩やかな斜面を形成している。

周辺の遺跡は、上流に中沢前遺跡、下流に浄禅寺跡遺跡・苗間東久保遺跡が隣接し、さかい川の対岸には富士見市の外記塚遺跡がある。

遺跡周辺は古くからの集落があり、現在でも大きな屋敷地が多く大きな開発もなかったが、ふじみ野駅の開設に伴い今後徐々に再開発が進むと思われる。本遺跡の最初の調査は 1987 年に町史編纂事業の一環として行なわれた。その後 1993 年に新駅へ延びる道路をはじめ、2010 年 3 月現在 36 地点で試掘調査および発掘調査が行なわれている。

これまでの調査で縄文時代中期後半～後期前半の住居跡、奈良時代から平安時代の住居跡、中世の建物跡などの遺構を検出した。

### II 神明後遺跡第 33 地点

#### (1) 調査の概要

調査は分譲住宅及び個人専用住宅の建設に伴うもので、原因者より 2008 年 3 月 17 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡の中央に位置しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は 2008 年 4 月 25 日から同年 5 月 16 日まで行なった。幅約 2 m のトレンチを 4 本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったところ、暗褐色土プランを検出した。遺構の性格を確認するためさらに一部を掘り下げ確認したところ、縄文時代の落とし穴、近世以降の井戸、土坑、ピット、溝等であった。確認面まで 80 cm を測るが、建築による遺構への影響がないため工事立会いとした。写真撮影・平板測量による全測図・遺構図面作成等記録保存を行ない、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。



第 96 図 神明後遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

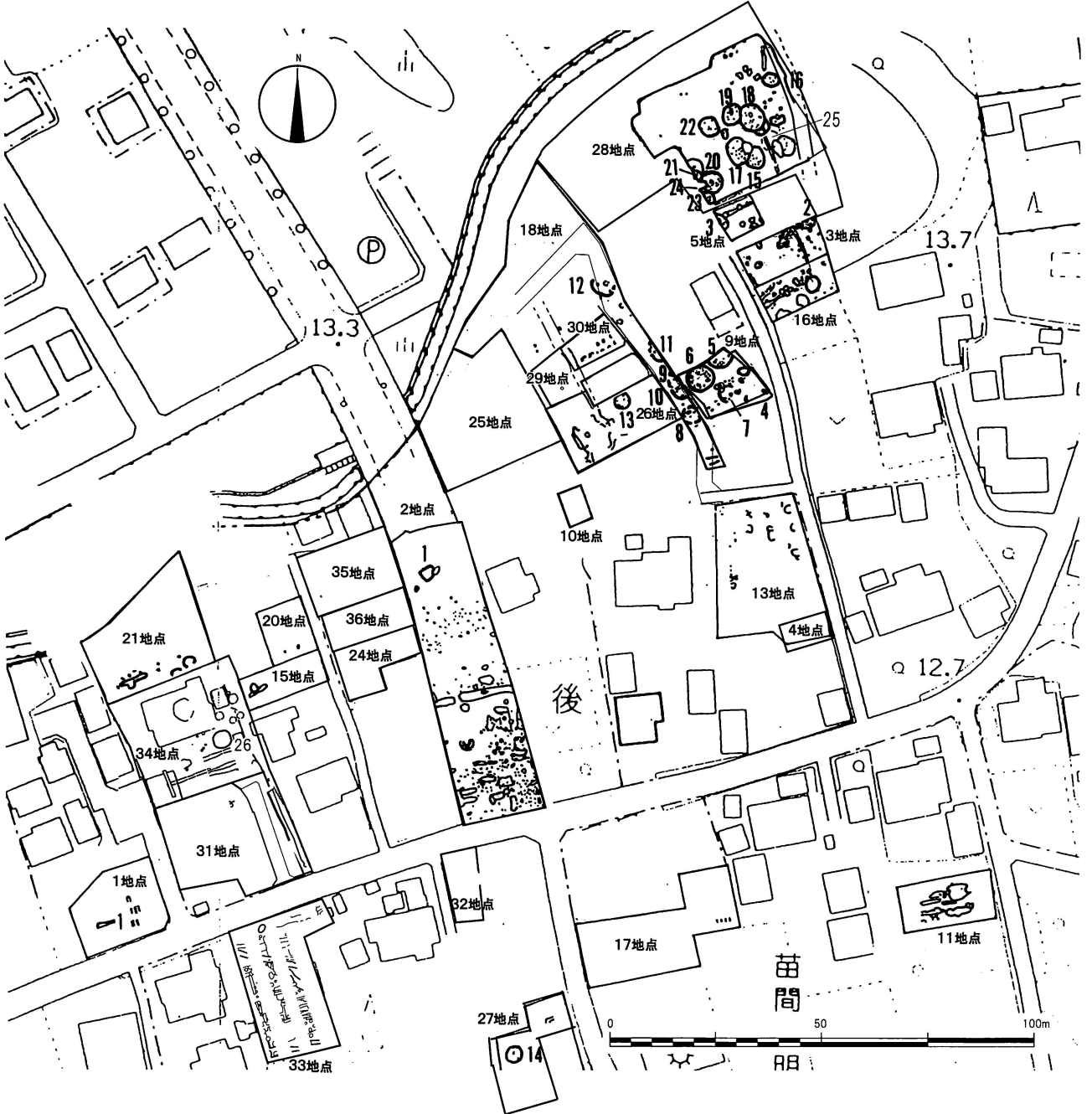
第 47 表 神明後遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間 ( ) は掘調査	面積 (㎡)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	苗間 281-1	1993.5.6 ~ 11	615	共同住宅	遺構無し、平安時代須恵器片、陶器片	町内遺跡群Ⅲ
2	苗間 295-2,299-3	1993.5.12 ~ 20	1,688	道路築造	落とし穴 1、平安住居跡 1(H1 号)、縄文土坑 1、中・近世掘建柱建物跡、地下式竈 1、井戸、堀	町内遺跡群Ⅲ
3	苗間 309-12	(1995.3.24 ~ 29) 1995.4.3 ~ 5.19	200	分譲住宅	縄文住居跡 1(2 号)、伏襲 2、埋襲 1、土坑 2、ピット 34 他	町内遺跡群Ⅵ
4	苗間 302	(1996.6.17 ~ 19)	703	物置	遺構無し、縄文土器片	町内遺跡群Ⅵ
5	苗間神明後 395-5	(1997.3.15) 1997.3.15 ~ 4.2	80	個人住宅	縄文住居跡 1(3 号)、土坑 5、溝、他 縄文中期後半～後期初頭	町内遺跡群Ⅵ
6	苗間 255,227-2	(1997.9.29 ~ 30)	150	個人住宅	土坑 1、土器片・石器片	町内遺跡群Ⅶ
7	苗間 260	(1998.6.1 ~ 2)	1,460	個人住宅	近世地下室 1	町内遺跡群Ⅷ
8	苗間 235-1	(1998.7.13 ~ 24)	458	共同住宅	集石土坑 1、土坑 2、ピット 40、柵列 1、溝	町内遺跡群Ⅷ
9	苗間 310-1	(1998.9.1 ~ 11) 1998.9.14 ~ 10.15	219	共同住宅	縄文住居跡 4、集石土坑 1、落とし穴 1、縄文土坑 2、近世土坑 1、井戸 2、地下室 1、ピット 33	町内遺跡群Ⅷ
10	苗間 298-1	(1999.9.16)	44	個人住宅	遺構無し、縄文土器片	町内遺跡群Ⅸ
11	苗間 366	(1999.10.21) 1999.10.22 ~ 26	239	個人住宅	土坑 17、ピット 7	町内遺跡群Ⅸ
12	苗間 282-2,5	(2000.3.6)	211	共同住宅	遺構・遺物無し	町内遺跡群Ⅸ
13	苗間 302-1	(2000.4.17 ~ 19)	694	個人住宅	土坑 12、ピット	町内遺跡群Ⅹ
14	苗間 252-2	(2000.8.18 ~ 23)	357	共同住宅	土坑 1、近世掘建柱建物跡 1、溝 2、井戸 1、柵列、ピット 38	町内遺跡群Ⅹ
15	苗間 293-15	(2001.4.11) 2001.4.12 ~ 13	163	個人住宅	集石土坑 1 (阿玉台期)	町内遺跡群ⅩⅠ
16	苗間 309-14	(2001.7.23 ~ 24) 2001.7.25 ~ 9.3	165	個人住宅	縄文屋外埋襲 4、土坑 13、溝 2、地下式竈 1、地下室 1、竪穴状遺構 1、ピット 38	町内遺跡群ⅩⅠ
17	苗間 369-1	(2002.3.28)	581	個人住宅	近世溝	町内遺跡群ⅩⅠ
18	苗間 304-1,303-6	(2002.5.15 ~ 25) 2002.5.27 ~ 6.21	672	分譲住宅	縄文中期住居跡 5(8 ~ 12 号)、土坑、古代・中世堀跡	町内遺跡群ⅩⅡ
19	苗間 264-4	(2002.9.18 ~ 20)	216	個人住宅	根切溝、溝 4	町内遺跡群ⅩⅡ
20	苗間 293-11	(2003.1.14 ~ 15)	143	個人住宅	中・近世溝 2、ピット 2	町内遺跡群ⅩⅡ
21	苗間 283-1	(2003.1.10 ~ 30)	674	土地造成	ピット 7、井戸 1、近世地下室 2、土坑 1	町内遺跡群ⅩⅡ
22	苗間 235-2,3	(2003.7.8 ~ 29)	430	分譲住宅	井戸 1、土坑 10、ピット 38、江戸後期陶磁器	町内遺跡群ⅩⅡ
23	苗間 253	(2004.4.9)	62	個人住宅	地下室 1、銭貨	町内遺跡群ⅩⅡ
24	苗間神明後 293-4,10	(2004.9.30 ~ 10.7)	148	個人住宅	遺構・遺物無し	町内遺跡群ⅩⅡ
25	苗間 295-1	(2004.9.30 ~ 10.7)	660	店舗併用住宅	遺構・遺物無し	町内遺跡群ⅩⅡ
26	苗間神明後 301,303-3,303-4,303-5,304-1,303-7	(2005.6.1 ~ 8) 2005.6.15 ~ 30	689	分譲住宅	縄文中期住居跡 1(13 号) 中世地下式竈、近世土坑 5、溝	調査会報告 18 集
27	苗間 248-2,249-1	2005.7.20 ~ 25 2005.7.27 ~ 29	385	共同住宅	縄文中期住居跡 1(14 号)	調査会報告 18 集
28	苗間神明後 306-1	(2006.5.8 ~ 31) 2006.6.29 ~ 10.5	2,171	宅地造成	縄文中期住居跡 11(15 ~ 25 号)、集石 23、土坑 5、落とし穴 1、竪穴 3、ピット、溝 4、古代・中世堀跡 1	市内遺跡 3
29	苗間神明後 303-21,24	(2006.5.8 ~ 11) 2006.5.12 ~ 19	136	個人住宅	ピット 1、古代・中世堀跡 1	市内遺跡 3
30	苗間神明後 303-1	(2006.5.8 ~ 19) 2006.12.14 ~ 19	101	個人住宅	ピット 12	市内遺跡 3
31	苗間神明後 284	(2007.8.3 ~ 7)	499	個人住宅	土坑 2	市内遺跡 4
32	苗間神明後 247-2	(2008.3.13)	136	個人住宅	近・現代掘乱	市内遺跡 4
33a	苗間 240-2	(2008.4.25 ~ 5.16)	298	個人住宅	落とし穴 1、中世以降溝 6、井戸 2、土坑 38、ピット 16	市内遺跡 6
33b	苗間 240-2	(2008.4.25 ~ 5.16)	357	分譲住宅		市内遺跡 6
34	苗間字神明後 283-1,284-1 の一部	(2008.4.30 ~ 5.15) 2008.5.16 ~ 28	1,693	個人住宅	縄文中期住居跡 1(26 号)、落とし穴 1、集石 3、ピット	市内遺跡 5
35	苗間字神明後 293 番 6,20	(2008.8.1)	247	個人住宅	遺構・遺物無し	市内遺跡 6
36	苗間字神明後 293-3	(2008.9.2)	165	個人住宅	ピット 1	市内遺跡 6
37	苗間 258-1 の一部	(2009.4.13) 2009.4.15 ~ 30	120	個人住宅	縄文後期住居跡 1	未報告
38	苗間字神明後 293-1,292-13	(2009.7.6 ~ 14)	265	個人住宅	中近世溝 1	未報告
39	苗間字神明後 264-1	(2009.8.5 ~ 12) 2009.8.24 ~ 9.1	378	共同住宅	中～近世溝 2、ピット 28、落とし穴 1	未報告
40	苗間 309-1	(2009.11.9 ~ 18) 2009.12.18 ~ 2010.1.15	156	個人住宅	縄文集石土坑 1、中世地下式竈 2、井戸 1、竪穴状遺構 1、土坑 9	未報告
41	苗間字神明後 298-1,299-1 の各一部	(2010.5.25 ~ 31) 2010.6.15 ~ 7.21	486	共同住宅	縄文時代集石土坑 1、中世の掘立柱建物跡、方形竪穴状遺構 16、溝 5、木炭窯 1、ピット 214、本調査 (140 ㎡)	未報告
42	苗間神明前 380-3	(2010.6.1 ~ 2)	312	宅地造成	遺構・遺物無し (隣接地)	未報告
43	苗間 292-14	(2010.10.20 ~ 22) 2010.10.22	107	個人住宅	中世～近世期ピット 7、本調査	未報告

第 48 表 神明後遺跡住居跡一覧表 (単位 cm)

住居 番号	調査 率	平面形 ( ) は 推定	規模	が			埋 没	遺 構	壁 溝	備考	時期	文献
				地 床	埋 設	石 垣						
1号	10%	(円形)	不明	未掘					○	中世土塁の下	加曾利 E II	大井町史 資料編 I
2号	65%	(円形)	不明×435×16	○	○	○	有			土坑と複合	加曾利 E IV、 埋没も E IV	町内道路群 VI
3号	45%	(円形)	410×不明×30			○	有			北平未掘	加曾利 E II 新	町内道路群VI
4号	15%	不明	不明			○	不明			掘乱著しい	加曾利 E II 中	町内道路群VII
5号	45%	(円形)	565×7×33	○			有			東北側未掘	加曾利 E II 新	町内道路群VII
6号	95%	円形	586×542×45	○	②		②	有・ 建替		② 並列と建替各 2	加曾利 E (断片)	町内道路群VII
7号	70%	円形	不明×498×18	○		○	不明			東南部床まで削平	加曾利 E I 新(相)	町内道路群VII
8号	70%	(円形)	580×?			○	不明			床面掘乱	加曾利 E I	調査会報告 16 集
9号	50%	(不整形)	(490×270)	未掘			有	○		10号に切られる	(加曾利 E I 新 新相)	調査会報告 16 集
10号	50%	不明	(300×250)×50	未掘					○	9号を切る	曾利Ⅲ式	調査会報告 16 集
11号	40%	(不整形)	(490×?)×55	未掘				○		貼床	加曾利 E II	調査会報告 16 集
12号	70%	(不整形)	(570)×550×80	○					○		加曾利 E III	調査会報告 16 集
13号	完掘	隅丸方形	343×370×13		○	○					加曾利 E I	調査会報告 18 集
14号	完掘	円形	404×403×20	○						2 本柱のみ	阿玉台 II	調査会報告 18 集

住居 番号	調査 率	平面形 ( ) は 推定	規模	が			埋 没	遺 構	壁 溝	備考	時期	文献
				地 床	埋 設	石 垣						
15号	完掘	円形	573×499×35				②			人 I に張り出し、 17 住を増める	加曾利 E III	市内道路群 3
16号	完掘	隅丸方形	338×337×25	②			○				加曾利 E II 新	市内道路群 3
17号	完掘	隅丸長 方形	684×525×70	②			○	有	○	並列 3.15 住に切 られる	加曾利 E I 新	市内道路群 3
18号	完掘	隅丸方 形	608×600×90	○		△	○		○	石垣の可能性有、 19 住に切られる	加曾利 E I 新	市内道路群 3
19号	完掘	隅丸長 方形	476×448×60	②		△				石垣の可能性有、 18 住を切る	加曾利 E II~III	市内道路群 3
20号	完掘	隅丸方 形	473×483×28				○			人 I 近くに配石、 伏襲	加曾利 E II	市内道路群 3
21号	40%	(隅丸)	?×?×10	○						○ 20、24 住より古い	加曾利 E I 新	市内道路群 3
22号	完掘	隅丸五 角形	491×513×113	○					○		加曾利 E I 新	市内道路群 3
23号	25%	不明	?×?×21	②		△				石垣の可能性有 20 住より古、 24 住より新	加曾利 E II	市内道路群 3
24号	10%	不明	?×?×55	未掘					○	20、24 住より古、 21 住より新	加曾利 E	市内道路群 3
25号	完掘	不明	(500×400)×5	○			○				加曾利 E II 新	市内道路群 3
26号	完掘	隅丸長方 形	585×486×31	○						土坑より新、 落とし穴より旧	加曾利 E III	市内道路群 5



第 97 図 神明後遺跡遺構分布図 (1/1,500)

第 50 表 神明後遺跡第 33 地点出土遺物観察表 (単位cm)

図版 番号	掲載 番号	遺構名	種別・器種	口径・ 長	底径・ 幅	器高・ 厚	技法 / 文様 / その他	石材 / 推定 生産地	推定年代・ 時期	残存 / 備考
105 図	1	井戸 1	陶器・捕鉢	(32.2)	13.8	12.8	紐槌み轆轤成形。底部右回転糸切り後未調整。口縁と体部の境を指撫で / 櫛目 15 本単位 (4.5cm 幅) を見込みから放射状、左回りに重ね、見込みも短く櫛目を重ねる / 鉄釉 / にぶい赤褐色 / 見込みは磨り減り、口縁内側も細かく打ち欠く / 注№ 1 井 2	瀬戸・美濃	18C 第 3 四 半期	1/2 以上 残存
	2	井戸 2	焼締め陶器・捕鉢	—	—	—	紐槌み轆轤成形 / 櫛目 7 本単位 (2.3cm 幅) を放射状、左回りに重ねる / にぶい褐色 / 砂粒 (〜 6 mm) 極多量含む / 注№ 2 井 2		近世	口縁部片
	3	井戸 2	瓦	5.4	4.8	1.6	棧瓦の破片を円形に打ち欠く / 灰色 / 注№ 2 井 1		近世〜	
	4	土坑 3	磁器・茶碗	(10.0)	3.5	5.1	轆轤成形 / コバルト染付け、型紙絵付け / 注№ 3D	瀬戸・美濃	1880 年代〜	1/2 以上残存
	5	土坑 3	磁器・蓋	(8.7)	(1.9)	—	轆轤成形 / コバルト染付け / 注№ 3D	瀬戸・美濃	1870 年代〜	1/4 以上残存
	6	土坑 3	土製品・泥面子	2.6	2.3	0.6	型押成形 / 裏面に指頭圧痕。泥沙門天 / 橙色 / 砂粒少量含む / 注№ 3D		1790 年代〜 1890 年代	一部欠
	7	土坑 11	陶器・碗	—	3.5	—	轆轤成形 / 灰釉。高台無釉 / 灰白色 / 注№ 11D	京都・信楽	19C	底部片
	8	土坑 17	磁器・茶碗	7.8	3.6	4.6	轆轤成形 / 黒色と茶色の銅版絵付 / 注№ 17D		1890 年代〜	口縁部一部欠
	9	土坑 25	磁器・香炉	—	(7.0)	—	轆轤成形 / コバルト染付、クロム青磁。内面無釉 / 注№ 25D	肥前	近代	1/4 以下残存
	10	土坑 26	石器・縦長剥片	5.43	2.38	0.92	重量 9.67g。縦長剥片を素材とする。右側辺に使用痕有 / 注№ 26D	頁岩	旧石器時代	完形
	11	P6	銅製品・薄板	2.3	1.3	0.1	楕円形の薄板の端が折れた状態で発見 / 注№ P 6			
	12	溝 1	磁器・合子蓋	(4.8)	—	(1.4)	型押成形 / 口縁内側無釉。矩形文に染付け / 注№ 1M1	肥前	1650 〜 1690 年代	1/4 以下残存
	13	溝 1	磁器・水滴	2.6	6.0	4.0	上部と下部を型押成形後、合体 / 内面無釉、指頭圧痕。コバルト染付け / 注№ 1M カクラン	瀬戸・美濃	1870 年代 〜	1/4 以上残存
	14	溝 1	ガラス製品 / 医療用薬瓶	1.5	3.1	7.3	型吹き成形 (割型) / スクリュー栓用 / 無色・透明、気泡有り / 瓢箪型 / 注№ 1M カクラン		1920 年代 〜	完形
	15	溝 1	銭貨・銅貨	外径 2.33	穿径 0.65	0.10	重量 1.75 g 鋳造 / 「寛永通寶」新寛永 / 注№ 1M カクラン		1697 〜 1781	完形
	16	溝 2	磁器・茶碗	—	(3.5)	—	轆轤成形 / 染付け。二重網目文。高台二重圈線。高台皿付無釉 / くらわんか手 / 注№ 2M2	肥前	1700 年代〜 1800 年代	底部片
	17	溝 2	製錬滓・炉内滓	6.6	10.2	4.8	重量 156.5g スサ入炉壁がガラス状に溶融し、炉底の滓が付着したもの / 注№ 2M3		古代	炉壁〜炉底
	18	遺構外	磁器・小杯	(6.5)	3.0	4.2	轆轤成形 / コバルト染付と緑色の銅版絵付。傘と朝顔。高台皿付無釉 / 注№ 1 トレ 1		1890 年代〜	1/2 以上残存
	19	遺構外	磁器・茶碗	8.2	3.0	4.8	轆轤成形 / コバルト染付の型紙絵付。松竹梅。高台皿付無釉 / 注№ 2 トレ 1		1880 年代〜	完形
	20	遺構外	磁器・湯飲み碗	5.1	3.5	5.8	轆轤成形 / コバルト染付の銅版絵付。桜、鶴。高台皿付無釉 / 注№ 2 トレ 1		1890 年代〜	完形
	21	遺構外	石製品・板碑	11.4	26.6	2.5	注№ 2 トレ 1	緑泥片岩	中世	1/4 以下残存
	22	遺構外	ガラス製品・ 一般用薬瓶	2.3	3.4	9.0	型吹き成形 (割型) / コルク栓用。角瓶 / 表「脳丸」「人物絵」、裏「山崎帝國堂」の陽刻。無色・透明、気泡有 / 注№ 1 トレ 2 № 1		1900 〜 1920 年代	完形

Ⅲ 神明後遺跡第 34 地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より 2007 年 12 月 19 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡中央北に立地し、隣接地では集石や地下式坑、溝跡等を検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は 2008 年 4 月 30 日から同年 5 月 15 日まで行った。幅約 2 m のトレンチを 5 本、幅約 1.5 m のトレンチを 1 本設定し、重機による表土除去後、人力による表面精査を行なったところ、縄文時代の遺構・遺物を確認したが、遺構確認面まで 40 cm と浅く、工事による掘削が遺構に影響を与える為、本調査を行なうこととなった。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ない、試掘調査を終了した。

本調査は原因者と発掘調査に係わる委託契約を締結した上で 2008 年 5 月 16 日から同年 5 月 28 日まで、ふじみ野市教育委員会が行ない、縄文時代の住居跡 1 軒、落とし穴 1 基、集石 3 基、中世以降の土坑、ピ

ットを検出した。

(市内遺跡群 5「神明後遺跡第 34 地点の本調査」参照)

Ⅳ 神明後遺跡第 35 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2008 年 6 月 24 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡中央に立地し、隣接地では住居跡や集石等を検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は 2008 年 8 月 1 日に行なった。幅約 1.5 m のトレンチを 3 本設定、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、時期不明のピットを 1 基検出したが、その他に遺構・遺物は検出しなかったため慎重工事とし、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。北側の斜面に向かって傾斜していき、70 cm 以上の盛土で造成されていた。確認面まで 130 cm を測る。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。



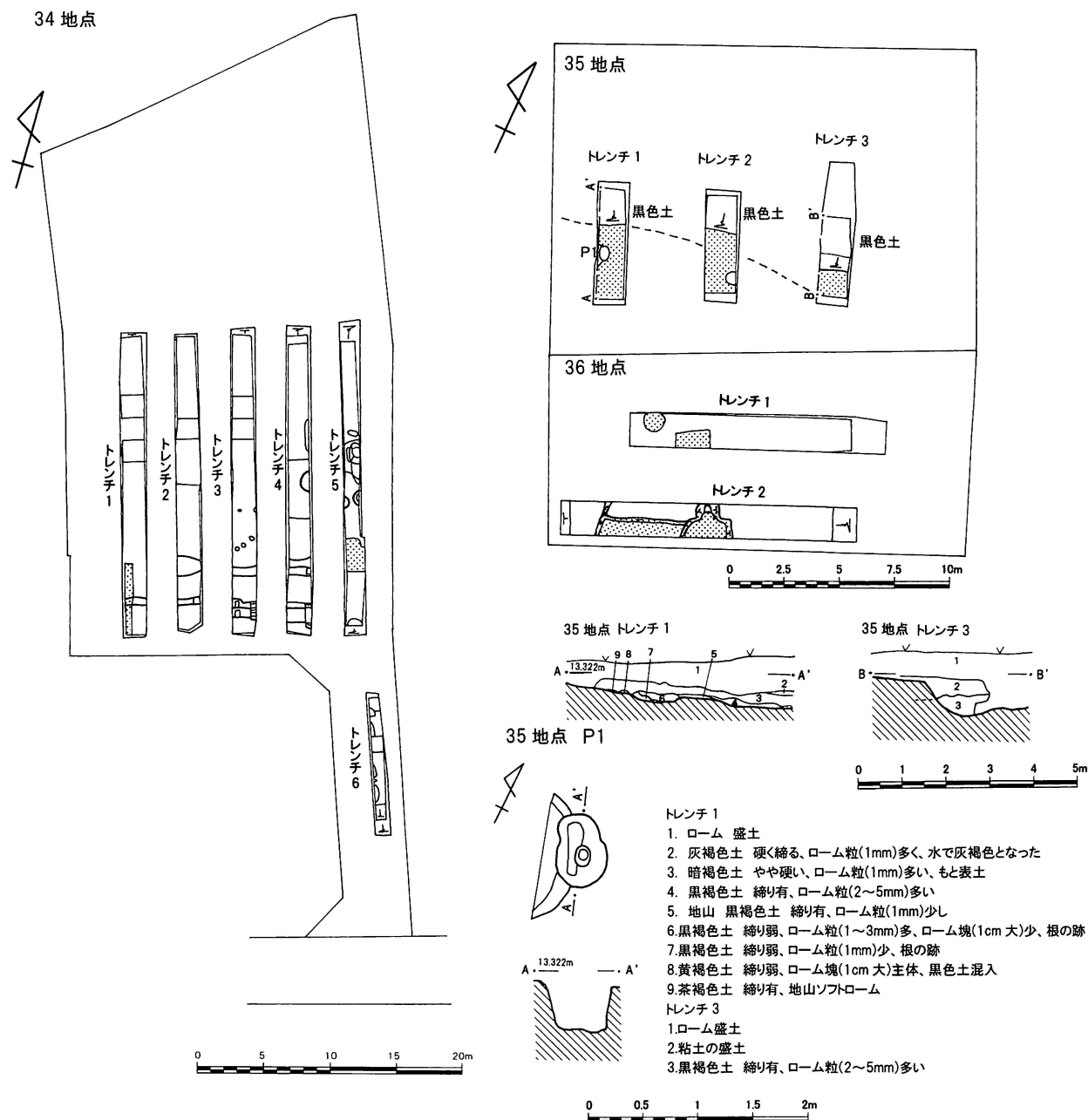
## V 神明後遺跡第 36 地点

## (1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2008 年 8 月 19 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡中央に立地し、隣接地では住居跡や集石等を検出しているため、申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するために試掘調査を実施した。

試掘調査は 2008 年 9 月 2 日に行なった。幅約 1.5

m のトレンチを 2 本設定、重機で表土除去後、人力による表面精査を行なった結果、黒褐色の遺構らしき範囲を検出したので調査したが、自然の窪みであった。その他に遺構・遺物は検出しなかったため慎重工事とし、写真撮影・平板測量による全測図作成等記録保存を行なったうえ埋め戻し、調査を終了した。確認面まで 60 ～ 100 cm を測る。なお、旧石器時代の確認調査はしていない。



第 106 図 神明後遺跡第 34 ～ 36 地点遺構配置図 (1/500・1/300)、土層図 (1/150)、ピット (1/60)

神明後遺跡第 34 ～ 36 地点



神明後遺跡第 34 地点全景



神明後遺跡第 34 地点トレンチ 2



神明後遺跡第 34 地点トレンチ 3



神明後遺跡第 34 地点トレンチ 4



神明後遺跡第 35 地点トレンチ 1 ピット 1



神明後遺跡第 35 地点トレンチ 3



神明後遺跡第 36 地点トレンチ 1



神明後遺跡第 36 地点トレンチ 2

東久保遺跡第 66 地点	ふじみ野 2-19-4,19-5	112453	35° 51′ 48″	20080522	261	分譲住宅
		30-009	139° 30′ 49″	20080611		越村篤
	集落跡 / 溝 4 条、溝状遺構 2 基					
亀久保堀跡遺跡 第 31 地点	ふじみ野 2-15-4	112453	35° 51′ 45″	20090206	240	分譲住宅
		30-006	139° 30′ 53″	20090213		越村篤
	集落跡 / 古代～中世の堀跡 1 条 東西 800m に渡って存在する溝の一部を検出					
駒林遺跡第 7 地点	駒林土地区画整理事業地内 28 街区 5 画地	112453	35° 50′ 00″	20090203	54	個人住宅建設
		25-013	139° 31′ 41″	20090205		高崎直成
	集落跡 / 時期不詳の溝跡 3 条 東西方向の溝は 140 ～ 160m に渡って存在すると思われる溝の一部					
神明後遺跡第 33 地点	苗間 240-2	112453	35° 51′ 35″	20080425	209	個人住宅・ 宅地造成
		30-041	139° 31′ 39″	20080516		高崎直成
	集落跡 / 時期不明の落とし穴 1 基、中世以降の溝 6 条、井戸 2 基、土坑 38 基、ピット 16 基・ 近世～近代陶磁器、ガラス製品 中世以降の屋敷跡の一部検出					
神明後遺跡第 35 地点	苗間 293-6	112453	35° 51′ 38″	20080801	26	個人住宅建設
		30-041	139° 31′ 40″	20080801		高崎直成
	集落跡 / ピット 1					
東台遺跡第 51 地点	大井字東台 648-2	112453	35° 51′ 01″	20090310	297	個人住宅建設
		30-024	139° 31′ 28″	20090507		越村篤
	集落跡 / 縄文時代中期住居跡 6 軒、土坑 4 基・縄文土器、縄文時代石器 縄文時代中期環状集落の一部を検出					